

特別支援学級生活単元学習指導案

1 単元名 職場体験の様子や学んだことを伝えよう

2 単元について

(1) 教材について

生活単元学習は、児童生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を実際、総合的に学習するものであるとされている。

本単元は、3日間の職場体験の様子や体験から学んだことをまとめ、保護者や小学生（5、6年生）に伝える単元である。今まで、生徒は生活単元学習の中で、毎年職場体験学習と施設見学をし、個人やグループごとにまとめ、掲示して知らせるだけであった。しかし、生徒たちは、職場体験を通して味わった達成感や充足感をまとめるだけでは物足りないと感じていたようである。そこで、職場体験の様子や学んだ事を発表する場を設けることで、生徒の「もっとみんなに教えたい」という思いをより満足させ、経験を広げることができるのではないかと考えた。また、発表を通して、たくさんの人と関わる楽しさやコミュニケーションの広がり、向上が期待でき、将来の自立（生き方）にも大きく影響するものと考えた。

(2) 生徒について

本学級の1組は知的障がい、2組は自閉症・情緒障がいを対象とした支援学級である。本単元は、職場体験学習の経験を「まとめる（書く・話す）」「伝える（表現する）」「認め合う（コミュニケーション）」「振り返る（自己評価）」することを目標としている。しかし、生徒は活動を振り返ってまとめたり、それを伝えたりという経験は少なく、得意でない生徒が多い。作業能力にも差があり、個々の特徴についても様々で、場に応じた行動や言葉遣いに課題がある生徒や言葉が出ない生徒もいる。

生徒たちは、毎年職場体験3日間、職場見学2～3カ所を実施しており、「働く」ということには多く触れてきている。体験には、どの生徒も意欲的で、興味を持って取り組んでおり、楽しい取り組みの一つになっている。しかし、そこで経験したことを、自分自身の将来のイメージに結びつけたり、生活の振り返り、改善に結び付けることはなかなか難しい。そこで今回は、職場体験の事前学習で、「自立」や「働く」ために必要な能力などの学習をし、将来の目標を立てたり、将来についてのイメージが持てるような学習を丁寧に行いたいと考えた。まとめの学習においても、「伝える」ことを目標としたことで、学習に対し自主的に見通しを持って取り組めると考えた。更に「伝える」対象も、保護者や交流している小学生を対象としてることで、学習活動への意欲が高まることを期待している。

(3) 指導にあたって

生徒たちは、単元全体のイメージ学習を通して、一つ一つの学習の積み重ねが、目的や目標の達成に結びついていることを、少しずつではあるが意識できるようになってきている。

本単元も自分自身の将来の目標（イメージ）を持つ→職場体験・見学→まとめ→発表と前単元からのつながりを持たせていく。そして生徒自身がそのつながりを意識して取り組むことができるように、単元全体のイメージを持たせるための工夫や支援を丁寧に行っていきたい。また、自分の気持ちを表現することが苦手な生徒が多いため、体験記録はまとめやすく、情報が整理しやすいものを工夫したい。

まとめや発表については、生徒が体験してきたことを、より具体的に表現できるような工夫を考えさせ、活動の交流の中でお互いの頑張りや良さを認め合うことにより、自分たちの活動が有意義であったことを振り返ることができるよう支援していきたいと考える。

3 単元の目標

- 職場体験で学んだことをわかりやすく伝える。
- お互いの良さを認め合い、仲間との関わりを深める。
- 今の自分を見つめ直し、次の活動に生かそうとする。

4 指導計画 (13時間扱い：本時6 / 13)

次	時間	学習内容
一	4	個人のまとめ
二	4	全体のまとめ
	3	発表練習 (本時2 / 3 職場体験報告会の準備をしよう)
三	1	報告会をしよう
	1	単元の学習を振り返る

5 本時の指導について

(1) 目標

- ・発表当日をイメージしながら、職場体験のまとめを具体的に分かりやすく伝えるために練習に取り組んでいる。
- ・お互いの良さを認め合い、仲間との関わりを深める。

(2) 指導構想

- ・導入場面では職場体験学習を想起させるために映像や写真を示し、本時の活動の意欲を持たせる。
- ・終末場面の振り返りでは、活動交流についてお互いの頑張り・よさを認めあう。

(3) 展開

段階	学習活動	形態	留意点
導入 5分	1 単元の流れを確認し、本時の学習の見通しを持つ。	全	○教師の働きかけと指導上の留意点 ●評価の観点(方法) ☆「見通す」「振り返る」活動
	2 本時の課題を確認する。		
職場体験報告会の準備をしよう —発表会に向けての練習—			
展開 35分	3 活動開始 (1) 教室を移動し、グループ毎の打ち合わせを行う。 1組 1グループ「クリーニング」 2組 2グループ「スーパー」 3組 3グループ「福祉事業所」 (1組に移動する)	全	○グループ毎に打ち合わせをしたあとに、発表会の練習を行うことを確認する。 ○発表のポイントを振り返らせ、役割分担などを確認する。 ○報告会当日のイメージを持たせながら、発表態度や聞き方のポイントを伝え、発表がスムーズに進められるように支援する。 ●職場体験のまとめを具体的に分かりやすく伝えることを意識し、練習に取り組んでいる。(観察) ☆発表の感想を伝えることで、お互いの良さや頑張り認め合う。 ○発表された内容を記録する(T2・T3)
	(2) グループ毎に報告会の形式で発表練習を行う。	全	
終末 分	4 本時の振り返りをする。	全	☆本時の活動を振り返り、自己評価カードの記入をする。 ○自分が担当した内容、意識して取り組んだこと、仲間の良さを認める内容が記入できるようにする。 ・発表のポイント(大きな声で、ハッキリと、分かりやすくなど)で意識して取り組んだこと ・まとめ方が丁寧で分かりやすかった。・～さんが頑張っていました。など仲間の良さを認め合う内容
	5 次時の学習内容を知る。		
			●お互いの良さを認め合うことができたか。(観察・発言) ○学習の予定表に沿って、次時の学習内容を確認する。

